

令和4年度南あわじ市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

南あわじ農業は温暖な気候を活かした水田多毛作栽培による水稻+野菜の複合経営が行われており、たまねぎの作付面積が全国第4位、冬レタスが全国1位、春レタスが全国2位、その他の主要品目である白菜やキャベツ等の作付面積についても上位であり、近畿圏内における有数の野菜産地となっている。

また、酪農も盛んな地域であり、野菜産地として重要な土づくりに欠かせない堆肥供給の役割を担っており、転作水田を活用した飼料作物の作付けも増加し、耕畜連携が進んでいる。

一方、農業従事者は年々減少しており、地域特産野菜であるたまねぎや白菜などの重量野菜からレタスなどの軽量野菜へシフトする農家が増えている。また、農業用機械の故障から水稻作を辞める農家も増加傾向にあり、若い担い手の確保や農業経営者の法人化、水稻作における大規模法人・集落営農組織の育成が課題となっている。

水田を管理する上で労力が軽減される作物が水稻であり、夏場の水田管理の観点からも需要に応じた主食用水稻の作付けを進めるとともに、需給調整米穀（飼料用・米粉用・WCS用稲等）の作付けも併せて推進し、水稻と野菜を組み合わせた三毛作体系を維持していく必要がある。

今後、水田の収益力強化の推進として、水稻作にあっては、地域において徹底した話し合いのもと、大規模法人や集落営農組織への移行を進めるとともに、秋冬野菜にあっては、引き続き個人農家や農業生産法人等が担うといった仕組みを確立していくことが必要である。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

規模拡大による生産量の確保や生産から販売までの一貫した体制整備など、産地の体質強化に向けて取り組むとともに、地域の営農条件や需要に応じた効率的な作付を推進することにより、水田を有効に活用しながら、農業者の所得向上を図る。

また、地域設定の産地交付金による支援を行うことで、適正な施肥管理の徹底による品質向上を実現する。一方、市場評価の高い「たまねぎ」「レタス」などについては、さらなるブランド化を進める。

また、産直施設を活用することで地産地消を促進するとともに、さらなる生産量の拡大を目指す。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

米の需要量が減少している中で、担い手による効率的な水田農業を目指し、優良農地の確保と有効利用の促進に取り組む。また、不作付水田については地域に適した作物の選定を模索し、適地適作を図り、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を目指す。

なお、水稻作に活用される見込みがない農地への畑地化支援については、本地域における現実的な農地の有効活用という観点を考慮しながら、その実施について検討していく。

4 作物ごとの取組方針等

市内の約3,500ha（不作付地を含む）の水田について、産地交付金を有効活用しながら、作物生産の維持、拡大を図ることとする。

また、認定農業者や認定新規就農者、農業法人、集落営農組織への集積により、経営コストの削減を促進する。

（1）主食用米

主食用米の生産目安や需要動向、米価の推移、や米の在庫量などについて国や県からの情報を農業者へ提供し、関係機関と連携しながら需要に応じた米づくりを推進していく。

また、本地域においては3等米や規格外が比較的多いことから、高温による外観品質低下が少ない品種の導入についても考慮する。

加えて、集落営農組織や大規模法人による主食用水稻の集積・集約を図る必要性が生じているため、土地利用型の経営体の育成に努めていく。

（2）備蓄米

現在、作付けはなし。今後についても作付けの予定はなし。

（3）非主食用米

ア 飼料用米

飼料用米については、戦略作物助成を活用して拡大を図る。

なお、多収品種である「あきだわら」の作付けを推奨する。

イ 米粉用米

米粉用米については、近年のノングルテン食品ブームによる需要が見込まれるため、地元飲食店や洋菓子店、学校給食等の地元の実需者との結びつきを強化し、生産拡大を図っていく。

特に、多収品種である「あきだわら」の作付けを推奨する。

ウ 新市場開拓用米

今後、市場開拓の拡大について検討を行っていく。

エ W C S用稲

W C S用稲については、戦略作物とされ、支援が拡大した平成22年度以降、年々増加の傾向にある。野菜産地である本地域において夏場以降早々に秋冬野菜に向けた準備が可能なW C S用稲は、畜産農家と耕種農家との耕畜連携による取組みが進みやすい。

今後はW C S用稲からの秋冬野菜という営農体系を確立させ、野菜農家の収益向上に寄与する取組みとして支援を行っていく。

オ 加工用米

加工用米については、需要はあるものの減少傾向となっている。

今後、大規模稲作法人経営者による大規模水稻作が可能となった場合に実需者との結びつきを強化しながら、作付けを誘導していく。

（4）麦、大豆、飼料作物

麦、大豆については、現状においても取組みが少ないため、現状を維持する。

飼料作物については、W C S用稲の増加や畜産農家の廃業に伴い、やや減少傾向にあるものの、酪農の認定農業者については、大規模集積による作付拡大が続いており、W C S用稲を含めた飼料作物の作付増加を目指す。

(5) そば、なたね
取組み予定なし。

(6) 地力増進作物

本市は二毛作、三毛作が盛んな地域であるため、連作障害を防ぐ目的で地力増進作物の作付けを推進している。

なかでも水稻を作付けしない田への地力増進作物の作付けは、より一層の推進が必要であると考えている。

(7) 高収益作物

高収益作物については、多毛作による生産や耕畜連携など本市の農業経営の特色、担い手の高齢化などの観点を踏まえ、次の5項目を重点項目として生産性の維持・拡大を図る。

- ①「たまねぎ」「レタス」「白菜」「キャベツ」「ブロッコリー」「カリフラワー」を地域特産野菜として位置づけ、生産拡大を進める。
- ②農業者の高齢化を踏まえ、重量野菜から軽量野菜への経営転換を進め、生産拡大を進める。
- ③市内の直売所等での販売量拡大を実現するために、地域特産野菜に加え、その他の野菜や花き、果樹についても、作付面積増加を進める。
- ④耕畜連携による地域内堆肥の活用を進め、「土づくり」による生産性の維持を図る。
- ⑤たまねぎのべと病、レタスのビッグベイン病などの病害の発症率低下に取組み、高品質で安心・安全な地域特産野菜の生産を進める。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物	前年度作付面積 (ha)		当年度の作付予定面積 (ha)		令和5年度の作付目標面積 (ha)	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	1,434.3	0.0	1,411.0	0.0	1,500.0	0.0
備蓄米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飼料用米	0.7	0.0	0.7	0.0	1.0	0.0
米粉用米	6.0	0.0	6.0	0.0	7.0	0.0
新市場開拓用米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
WCS 用稲	378.0	0.0	400.0	0.0	350.0	0.0
加工用米	2.1	0.0	2.2	0.0	3.0	0.0
麦	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
大豆	1.0	0.0	1.0	0.0	2.0	0.0
飼料作物	119.6	0.0	125.0	0.0	125.0	0.0
・子実用とうもろこし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そば	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高収益作物	2,084.5	0.0	2,090.0	0.0	1,874.1	0.0
・野菜	2,080.6	0.0	2,085.8	0.0	1,870.0	0.0
・花き・花木	3.2	0.0	3.4	0.0	3.1	0.0
・果樹	0.7	0.0	0.8	0.0	1.0	0.0
・その他の高収益作物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地力増進作物	148.0	0.0	149.0	0.0	170.0	0.0
畑地化	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）		目標値	
				（令和3年度）	（令和3年度）	（令和5年度）	（令和5年度）
1.2	野菜、花き、果樹、一般作物 （対象作物一覧のとおり）	高収益作物助成 （基幹・二毛作）	作付面積拡大 直売所利用者数	28.2ha 54人	28.2ha 54人	29.0ha 144人	29.0ha 144人
3.4	玉葱、レタス類、白菜、キャベツ類、ブロッコリー、カリフラワー	地域特産野菜助成 （基幹・二毛作）	作付面積拡大 取組者数	277.9ha 1,605人	277.9ha 1,605人	318.0ha 1,840人	318.0ha 1,840人
5	玉葱、レタス類、白菜、キャベツ類、ブロッコリー、カリフラワー	二毛作助成 （地力+野菜）（二毛作）	作付面積拡大 取組者数	148.7ha 748人	148.7ha 748人	170.0ha 935人	170.0ha 935人
6	玉葱、レタス類、白菜、キャベツ類、ブロッコリー、カリフラワー	担い手による二毛作助成 （地力+野菜）（二毛作）	作付面積拡大 取組認定農業者数	149.4ha 185人	149.4ha 185人	116.0ha 175人	116.0ha 175人
7	玉葱	玉葱べと病対策加算	作付面積拡大 取組者数	65.6ha 499人	65.6ha 499人	73.1ha 628人	73.1ha 628人
8	レタス類	レタスのビッグベイン病防除対策加算	作付面積拡大 取組者数	13.3ha 54人	13.3ha 54人	22.0ha 95人	22.0ha 95人
9	米粉用米	需給調整米穀加算	作付面積拡大 取組者数	5.4ha 7人	5.4ha 7人	7.0ha 15人	7.0ha 15人
10	飼料作物（飼料用青刈り稲以外）	飼料作物の土地利用集積加算	作付面積拡大 取組者数	54.4ha 88人	54.4ha 88人	62.3ha 103人	62.3ha 103人
11	飼料作物、WCS用稲	耕畜連携助成（耕畜連携）	作付面積拡大 取組者数	290.6ha 690人	290.6ha 690人	300.0ha 780人	300.0ha 780人
12	エコファーマー及びひょうご安心ブランドの認証を受けた野菜	みどり戦略導入加算	作付面積拡大 取組者数	—ha —人	—ha —人	65.0ha 125人	65.0ha 125人

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

別紙のとおり

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：

協議会名：

新様式(公表用)

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	高収益作物助成	1	6,000	野菜、花き、果樹、一般作物 (対象作物一覧のとおり)	実需者等に出荷・販売することを目的として、対象作物の生産に取組む農業者又は集落営農。
2	高収益作物助成(二毛作)	2	6,000	野菜、花き、果樹、一般作物 (対象作物一覧のとおり)	実需者等に出荷・販売することを目的として、対象作物の生産に取組む農業者又は集落営農。
3	地域特産野菜助成	1	10,000	玉葱、レタス類、白菜、キャベツ類、ブロッコリー、カリフラワー	実需者等に出荷・販売することを目的として、対象作物の生産に取組む農業者又は集落営農。
4	地域特産野菜助成(二毛作)	2	10,000	玉葱、レタス類、白菜、キャベツ類、ブロッコリー、カリフラワー	実需者等に出荷・販売することを目的として、対象作物の生産に取組む農業者又は集落営農。
5	二毛作助成(地力+野菜)(二毛作)	2	12,000	玉葱、レタス類、白菜、キャベツ類、ブロッコリー、カリフラワー	地力増進作物の播種、すき込みについて作業日誌により確認する。
6	担い手による二毛作助成(地力+野菜)(二毛作)	2	17,000	玉葱、レタス類、白菜、キャベツ類、ブロッコリー、カリフラワー	地力増進作物の播種、すき込みについて作業日誌により確認する。
7	玉葱べと病対策加算	1	2,000	玉 葱	玉葱を収穫した水田において水張を実施し、玉葱を定植すること。
8	レタスビッグベイン病防除対策加算	1	10,000	レタス類	現地確認(原則として、太陽熱消毒による防除については基準日を9月1日とし、カラシナによる防除については、基準日を7月1日とする。)で目視により確認する。
9	需給調整米穀加算	1	20,000	米粉用米	米粉用米の作付面積が10a以上であること。 兵庫県内の実需者への出荷であること。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：

協議会名：

新様式(公表用)

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取組要件等 ※4
10	飼料作物の土地利用集積加算	1	23,000	飼料作物(飼料用青刈り稲以外)	業者：認定農業者、認定就農者及び市が決定した人・農地プランにおいて位置づけられた中心経営体及び、土地利用集積に協力する農業者 集落営農：市が決定した人・農地プランにおいて中心経営体に位置付けられた集落営農組織及び土地利用集積に協力の農業者
11	耕畜連携助成(耕畜連携)	3	10,000	飼料作物、WCS用稲	水田で生産された粗飼料作物等の供給を受けた家畜の排せつ物から生産された堆肥を粗飼料作物等を作付する又は作付した水田に施肥する取組。 ①当該年度におけるたい肥の散布の取組であること ②利用供給協定に次の事項が含まれていること 1)取組の内容 2)供給される飼料作物 3)飼料作物を生産する者 4)堆肥を散布する者 5)ほ場の場所及び面積 6)堆肥の散布時期 7)利用供給協定締結期間 8)堆肥散布の条件(作業分担・品代・経費負担) 9)その他必要な事項
12	みどり戦略導入加算	1	5,000	エコファーマー及びびょうご安心ブランドの認証を受けた野菜	営農計画書、取組計画書及びエコファーマー認定書の写し、兵庫県認証食品認証書の写し(団体が認証を受けている場合は団体の構成員がわかるもの)により確認する。

※1 ニ毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、ニ毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(ニ毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、ニ毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携でニ毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・ニ毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、ニ毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携でニ毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

対象作物一覧表

カテゴリー	区分	作物等名	作物コード	整理番号			
戦略作物	麦	小麦	100				
		小麦（種子用）	101				
		六条大麦	102				
		二条大麦	104				
		はだか麦	106				
	大豆	青大豆	109				
		白大豆（一般）	122				
		白大豆（契約）	123				
		白大豆（種子用）	112				
		黒大豆	110				
	飼料作物	黒大豆（種子用）	111				
		青刈りとうもろこし	124	10	11		
		ソルガム（青刈りソルガム、スーダングラス）	125	10	11		
		わら専用稲	113	10	11		
		その他青刈り（テオシント、青刈り麦、青刈り大豆、しこくびえ、青刈りひえ）	126	10	11		
		永年性牧草（オーチャードグラス、チモシー、トールフェスク、メードフェスク、パヒアグラス、アルファルファ、ケンタッキーブルーグラス、アカクローパー、シロクローパー、ペレニアルライグラス、リードカナリーグラス、飼料用シバ）					
		イタリアンライグラス	128	10	11		
		その他一年性牧草（ギニアグラス、カラードギニアグラス、ローズグラス、バラグラス、パンゴラグラス、ネピアグラス、オオクサキビ）	129	10	11		
		飼料用根菜類（飼料用かぶ、飼料用ビート）	130	10	11		
		飼料用穀類（子実用えん麦）	131	10	11		
新規需要米	加工用米	青刈りハトムギ（飼料用）	132	10	11		
		子実用はと麦	121	10	11		
		その他飼料作物	133				
		その他飼料作物（資源循環非対象）	134				
		飼料用青刈り稲	157				
		稲発酵粗飼料用稲（専用種）クサノホシ、クサユタカ、クサホナミ、リーフスター、はまさり、ホシアオバ、タカナリ、兵系飼78号（兵庫生若丸）、夢あおば	135	11			
		稲発酵粗飼料用稲（その他）	136	11			
		飼料用米	116				
		米粉用米	115	9			
		加工用米	119				
	そば・加工用米	そば	117				
		なたね	118				
その他作物	野菜	きゅうり	200	1.2			12
		トマト	201	1.2			12
		なす	202	1.2			12
		大市なす	285	1.2			12
		ピーマン	203	1.2			12
		ししとう	288	1.2			12
		トウガラシ	293	1.2			12
		ズッキーニ	289	1.2			12
		かぼちゃ	204	1.2			12
		くり南瓜	282	1.2			12
	果物	いちご	205	1.2			12
		ずいか	206	1.2			12
		メロン	207	1.2			12
		キャベツ	208	3.4	5	6	12
		キャベツ（裏作転作）	209	3.4	5	6	12
		はくさい	248	3.4	5	6	12
		はくさい（裏作転作）	210	3.4	5	6	12
		さんとうさい	292	1.2			12
		ほうれんそう	211	1.2			12
		オクラ	262	1.2			12
		ハス	268	1.2			12

カテゴリー	区分	作物等名	作物コード	整理番号			
戦略作物	麦	ねぎ	212	1.2			12
		太ねぎ	263	1.2			12
		岩津ねぎ	265	1.2			12
		丹波ひかみねぎ	266	1.2			12
		たまねぎ	254	3.4	5	6	7.12
	大豆	たまねぎ（裏作転作）	213	3.4	5	6	12
		らつきよ	291	1.2			12
		レタス	214	3.4	5	6	8.12
		レタス（裏作転作）	264	3.4	5	6	12
		だいこん	256	1.2			12
	飼料作物	だいこん（裏作転作）	215	1.2			12
		青味だいこん	284	1.2			12
		にんじん	216	1.2			12
		にんじん（裏作）	287	1.2			12
		さといも	217	1.2			12
		れんこん	218	1.2			12
		しょうが（根3つが）	219	1.2			12
		えだまめ（白大豆）	220	1.2			12
		えだまめ（黒大豆）	255	1.2			12
		青さやいんげん	221	1.2			12
新規需要米	加工用米	未成熟とうもろこし	222	1.2			12
		食用ばれいしょ	223	1.2			12
		食用かんしょ	224	1.2			12
		尼薩（あまいも）	281	1.2			12
		アスパラガス	225	1.2			12
		きのこ類	226	1.2			12
		フロッキー（裏作転作）	227	3.4	5	6	12
		ニラ	228	1.2			12
		やまのいも	229	1.2			12
		未成熟そらまめ	230	1.2			12
	野菜	一寸そら豆	237	1.2			12
		しゅんぎく	231	1.2			12
		青さやえんどう	232	1.2			12
		うすいえんどう	238	1.2			12
		かぶ	233	1.2			12
		ごぼう	234	1.2			12
		まくわうり	235	1.2			12
		しろうり	236	1.2			12
		べっちゃんうり	280	1.2			12
		とうがん	286	1.2			12
その他作物	セロリ	239	1.2			12	
	食用なばな	283	1.2			12	
	その他つけな類	240	1.2			12	
	みつば	241	1.2			12	
	パセリ	242	1.2			12	
	ふき	243	1.2			12	
	しそ	244	1.2			12	
	なた豆	245	1.2			12	
	うど	246	1.2			12	
	クワイモ	247	1.2			12	
果物	チンゲンサイ	249	1.2			12	
	その他中国野菜	250	1.2			12	
	その他野菜	251	1.2			12	
	加工食品用ばれいしょ	252	1.2			12	
	カリフラワー	253	3.4	5	6	12	
	しろな	257	1.2			12	
	こまつな	258	1.2			12	
	みずな	259	1.2			12	
	ヤーコン	260	1.2			12	
	わさび	261	1.2			12	
その他作物	セリ	267	1.2			12	
	その他湛水性作物	269	1.2			12	
	モロヘイヤ	270	1.2			12	
	バジル	271	1.2			12	
	ハーブ	290	1.2			12	
	ニンニク	272	1.2			12	
	ニンニク（特産）	273	1.2			12	
	みょうが	274	1.2			12	
	ゴーヤ	275	1.2			12	
	よもぎ	276	1.2			12	
その他作物	わらび	277	1.2			12	
	ごごみ	278	1.2			12	
	施設野菜	279	1.2			12	
	日本なし	401	1.2				
	西洋なし	402	1.2				
	もも	403	1.2				
	うめ	404	1.2				
	びわ	405	1.2				
	かき	406	1.2				
	くり	407	1.2				
その他作物	いちじく	408	1.2				
	キウイフルーツ	409	1.2				
	ゆず	410	1.2				
	すだち	411	1.2				
	ブルーベリー	413	1.2				
	うんしゅうみかん	414	1.2				
	りんご	415	1.2				
	ぶどう	416	1.2				
	レモン		1.2				
	おうとう	417	1.2				
その他作物	その他果樹	412	1.2				
	花き	500	1.2				
	若松	501	1.2				
	花木	504	1.2				
	種苗類	502					
	ぎ	503	1.2				
	ツノナス	505	1.2				
	カーネーション	506	1.2				
	ストック	507	1.2				
	なたね（花）	508	1.2				
その他作物	キク	509	1.2				
	キンセンカ	510					
	地力増進水稻	658					
	とうもろこし（地力）	650					
	ソルガム（地力）	651					
	クローバー（アカ、シロ）	652					
	れんげ（地力）	653					
	ヘアリーベッチ（地力）	654					
	その他地力増進作物	655					
	コスモス	700					
その他作物	ひまわり（景観）	701					
	なたね（景観）	702					
	マリーゴールド	703					
	れんげ（景観）	704					
	そば（景観）	705					
	ペニばな	706					
	チュリッパ	708					
	ヘアリーベッチ（景観）	709					
	その他景観形成作物	707					
	その他作物	水稲	934				
桑		935					
援助米		916					
試験研究米		917					
新規需要米（輸出用米）		154					
新規需要米（種子）		156					
バイオ燃料用米		159					
新規需要米（その他）		155					
加工用青刈り稲		158					
直播栽培		160					
その他作物	有機栽培	161					
	その他減収栽培	162					
	その他減収栽培（2）	163					
	主食用水稲	150					
	酒造好適米	151					
	種子生産ほ場（種子用米）	152					
	備蓄米	153					
	茶	934					
	桑	935					
	援助米	916					
試験研究米	917						
新規需要米（輸出用米）	154						
新規需要米（種子）	156						
バイオ燃料用米	159						
新規需要米（その他）	155						
加工用青刈り稲	158						
直播栽培	160						
有機栽培	161						
その他減収栽培	162						
その他減収栽培（2）	163						
主食用水稲	150						
酒造好適米	151						
種子生産ほ場（種子用米）	152						
備蓄米	153						
茶	934						
桑	935						
援助米	916						
試験研究米	917						
新規需要米（輸出用米）	154						
新規需要米（種子）	156						
バイオ燃料用米	159						
新規需要米（その他）	155						
加工用青刈り稲	158						
直播栽培	160						
有機栽培	161						
その他減収栽培	162						
その他減収栽培（2）	163						
主食用水稲	150						
酒造好適米	151						
種子生産ほ場（種子用米）	152						
備蓄米	153						
茶	934						
桑	935						
援助米	916						
試験研究米	917						
新規需要米（輸出用米）	154						
新規需要米（種子）	156						
バイオ燃料用米	159						
新規需要米（その他）	155						
加工用青刈り稲	158						
直播栽培	160						
有機栽培	161						
その他減収栽培	162						
その他減収栽培（2）	163						
主食用水稲	150						
酒造好適米	151						
種子生産ほ場（種子用米）	152						
備蓄米	153						
茶	934						
桑	935						
援助米	916						
試験研究米	917						
新規需要米（輸出用米）	154						
新規需要米（種子）	156						
バイオ燃料用米	159						
新規需要米（その他）	155						
加工用青刈り稲	158						
直播栽培	160						
有機栽培	161						
その他減収栽培	162						
その他減収栽培（2）	163						
主食用水稲	150						
酒造好適米	151						
種子生産ほ場（種子用米）	152						
備蓄米	153						
茶	934						
桑	935						
援助米	916						
試験研究米	917						
新規需要米（輸出用米）	154						
新規需要米（種子）	156						
バイオ燃料用米	159						
新規需要米（その他）	155						
加工用青刈り稲	158						
直播栽培	160						
有機栽培	161						
その他減収栽培	162						
その他減収栽培（2）	163						
主食用水稲	150						
酒造好適米	151						
種子生産ほ場（種子用米）	152						
備蓄米	153						
茶	934						
桑	935						
援助米	916						
試験研究米	917						
新規需要米（輸出用米）	154						
新規需要米（種子）	156						
バイオ燃料用米	159						
新規需要米（その他）	155						
加工用青刈り稲	158						
直播栽培	160						
有機栽培	161						
その他減収栽培	162						
その他減収栽培（2）	163						
主食用水稲	150						
酒造好適米	151						
種子生産ほ場（種子用米）	152						
備蓄米	153						
茶	934						
桑	935						
援助米	916						
試験研究米	917						
新規需要米（輸出用米）	154						
新規需要米（種子）	156						
バイオ燃料用米	159						
新規需要米（その他）	155						
加工用青刈り稲	158						
直播栽培	160						
有機栽培	161						
その他減収栽培	162						
その他減収栽培（2）	163						
主食用水稲	150						
酒造好適米	151						
種子生産ほ場（種子用米）	152						
備蓄米	153						
茶	934						
桑	935						
援助米	916						
試験研究米	917						
新規需要米（輸出用米）	154						
新規需要米（種子）	156						
バイオ燃料用米	159						
新規需要米（その他）	155						
加工用青刈り稲	158						
直播栽培	160						
有機栽培	161						
その他減収栽培	162						
その他減収栽培（2）	163						
主食用水稲	150						
酒造好適米	151						
種子生産ほ場（種子用米）	152						
備蓄米	153						
茶	934						
桑	935						
援助米	916						
試験研究米	917						
新規需要米（輸出用米）	154						
新規需要米（種子）	156						
バイオ燃料用米	159						
新規需要米（その他）	155						
加工用青刈り稲	158						
直播栽培	160						
有機栽培	161						
その他減収栽培	162						
その他減収栽培（2）	163						
主食用水稲	150						
酒造好適米	151						
種子生産ほ場（種子用米）	152						
備蓄米	153						
茶	934						
桑	935						
援助米	916						
試験研究米	917						
新規需要米（輸出用米）	154						
新規需要米（種子）	156						
バイオ燃料用米	159						
新規需要米（その他）	155						
加工用青刈り稲	158						
直播栽培	160						
有機栽培	161						
その他減収栽培	162						
その他減収栽培（2）	163						
主食用水稲	150						
酒造好適米	151						
種子生産ほ場（種子用米）	152						
備蓄米	153						
茶	934						
桑	935						
援助米	916						
試験研究米	917						
新規需要米（輸出用米）	154						